

令和5年 3月 26日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市中央区
団体名 くまもと邦楽会館
代表 氏名 藤川いずみ



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年 7月 31日付け指令(地活)第28号により、熊本市市民公益活動支援助成金の

交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業

子ども邦楽体験ワークショップ

2 助成事業の実施期間 令和4年 4月 1日 ～ 令和5年 3月 19日

3 助成事業の内容 和楽器が気軽に体験できるプログラム

事業1 子ども邦楽体験教室〈箏の基礎技術とアンサンブルを学ぶプログラム〉

事業2 夏休み伝統芸能ワークショップ〈和楽器・日本舞踊の体験プログラム〉

4 事業の成果

令和4年度子ども邦楽体験ワークショップは2つの事業を行い、多くの子どもたちや大人に和楽器の楽しさや魅力を伝えることができた。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

様式第16号（第21条関係）

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	120,000	参加費 2000 円×30 名×2
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	230,447	
当該事業に対する助成金額	250,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	600,447	

◆支出決算（事業別）

支出費目		事業名	事業1	事業2	事業3	合計
			子ども邦楽 体験教室	伝統芸能ワー クショップ		
助 成 対 象 経 費	人件費		130,000	110,000		240,000
	報償費			80,000		80,000
	旅費					
	人件費等合計【A】		130,000	190,000	0	320,000
	役務費		8,352	3,630		11,982
	使用料・賃借料			90,860		90,860
	事務・消耗品費		19,165	18,440		37,605
	委託費		10,000	10,000		20,000
	合計		167,517	312,930	0	480,447
外 経 費	助成対象外経費					
	事業1 会場料		120,000			120,000
	合計（助成対象外経費）					
総事業費						600,447

助成申請上限額（助成種別：ステップアップ 助成）

$$〔 助成対象経費【☆】 480,447 - 控除額【E】 79,777 〕 \times 2/3 = 250,000$$

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が助成対象経費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	320,000	→	超過人件費【C】※	79,777
助成対象経費の1/2【B】	240,223		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	79,777		控除額【E】	79,777

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔子ども邦楽体験教室 ＜箏の基礎技術とアンサンブルを学ぶプログラム＞ 〕

人件費	指導料 10,000 円×12 ヵ月=120,000 円、広報スタッフ 10,000 円
報償費	
旅費	
役務費	郵便レターパック 370 円×6 通=2,220 円、84 円切手×73 枚=6,132 円
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	インクカートリッジ 9,139 円、 録音機・チューナー用乾電池 1,430 円、コピー用紙 A4+A3=2,012 円、 賞状用紙 A4×3 袋+封筒長 4+インクジェット紙 A4=2940 円 筆記用具フリクションボール 2,544 円、A4 ファイル 110 円×10 冊=1,100 円
委託費	チラシ印刷代デザイン含 10,000 円（1,000 枚）、

事業2〔伝統芸能ワークショップ＜和楽器および日本舞踊の体験プログラム＞ 〕

人件費	1 万円×11 名（和楽器助手 6、舞台 1、運搬 2、音響 1、広報 1）=110,000 円
報償費	謝金 20,000 円×4 名=80,000 円
旅費	
役務費	郵便レターパック 370 円×3 通=1,110 円、切手 84 円×30 枚=2,520 円
使用料・賃借料	会場費 13,860 円、音響機材 20,000 円、 体験用楽器（和太鼓輝）太鼓 2,000 円×10 面=20,000 円、 体験用楽器（上野屋楽器）箏 2,000 円×10 面=20,000 円、 尺八 500 円×2 本=1,000 円、三味線 1,000 円×6 丁=6,000 円、 鼓 1,000 円×10 丁=10,000 円
事務・消耗品費	コピー機故障のため機器買い替え 新インクカートリッジ 12,360 円×1 箱 厚手パンフレット用紙 A3 1,144 円 賞状用紙（修了証）B6.A4 1,936 円、消毒液 1,000 円×3 個=3,000 円
委託費	チラシ印刷代デザイン含 10,000 円（1,000 枚）

別紙（１）

事業報告書

実施年度	令和 4 年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 子ども邦楽体験ワークショップ
事業期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 19 日
事業の目的	邦楽の歴史に影響を与えた長谷校を輩出した熊本市は、邦楽の聖地として、また毎年 全国邦楽コンクールが開催される都市として国内外に知られているが、現状は邦楽人口 が減衰の一途を辿っている。熊本で恒常的に子供たちが和楽器にふれることができる場 所が必要であり、私的な教室入門を前提としない、公共性の高い和楽器体験ができる機 会を提供できる環境づくりと同時に、伝統文化に根差した豊かな情緒と国際性をもつ人 材を育成し、次世代への継承を図っていくことを目的とする。
具体的な 事業内容	くまもと邦楽会館は、熊本市内で和楽器体験ができる場所として、いつでも気軽 に和楽器が体験できる環境づくりを行った。 一年間を通して『子ども邦楽体験教室』で箏の基礎とアンサンブルを学ぶプログ ラムと、夏期に開催する『伝統芸能ワークショップ』では尺八、三味線、太鼓、 鳴物、日本舞踊などを体験できるプログラムによるワークショップを開催し、た くさんの親子が参加し、和楽器の体験を親子で楽しんだ。 事業1 子ども邦楽体験教室 <箏の基礎技術とアンサンブルを学ぶプログラム> ① 日 時：一年間で、月3～4回（土曜日）×3～4クラス（1クラス/50分） ② 場 所：くまもと邦楽会館（熊本市中央区菅原町11-2） ③ 講 師：邦楽創造集団オーラJ（東京/邦楽プロ団体）箏奏者 藤川いずみ ④ 対象者：子ども邦楽体験教室 参加登録 子ども26人、保護者4人（30名） ⑤ 広報先：各公共施設20カ所、あいぽーとにチラシ配布（1000枚） 事業2 伝統芸能ワークショップ <和楽器および日本舞踊の体験プログラム> ① 日 時：令和4年（2022）8月18日（木）13:30～16:30 ② 場 所：熊本県立劇場 音楽リハーサル室 ③ 講 師：太鼓指導 岩崎力樹、鳴物・日本舞踊指導 中村花誠 尺八 決山坊菱雲、三味線 松野孝子、箏 藤川いずみ・角田ちひろ ④ 対 象：ワークショップ参加者（高校生まで）33名と保護者（計75名） ⑤ 会 費：児童・小学生～大学生（付添・保護者）外国人無料、一般2000円 ⑥ 広報先：各公共施設20カ所、あいぽーとにチラシ配布（1000枚）
実施場所	事業1：くまもと邦楽会館 事業2：熊本県立劇場 音楽リハーサル室
協力団体	藤川いずみお琴教室、上野屋楽器、一般社団法人花童、和太鼓輝（ひかり）

事業の効果 ・公益性	校区の学校と連携し、地域ぐるみで子供の成長を支援する中で、子どもたちが身近に伝統文化に触れ学ぶ機会を得ることができ、次世代への伝統芸能継承につながっている。学校音楽の授業中、先生の指導下で、子どもが手本となって箏の正しい姿勢と音の出し方を見せ、他の子供たちへ見本となって「さくら」の美しい弾き方を伝えることができる。熊本市のイベントなどの催しで子供たちが和楽器を演奏する機会が生まれた。イベント出演に関しての実績は、別紙参照のこと。 令和4年度は、特に熊本市に関して、「全国都市緑化祭オープニングアクト（熊本城ホール『花七変化肥後六花』初演、「全国都市緑化フェアくまもと花博（サクラマチ/水前寺能楽堂）、第4回アジア太平洋水サミット開催記念曲『水と花と夢と』演奏、熊本城秋のお城まつり「城あかり琴のしらべ」、令和5年2月には熊本市・ハイデルベルク市姉妹提携30周年記念ハイデルベルク市長訪問団歓迎レセプションでも演奏を行った。子どもの成長と技術のレベルに応じて、熊本市の催しにおいて貢献している。
次年度以降の事業展望	子どもだけでなく、一般人や外国人も含め、熊本市で一人でも多くの人がいつでも和楽器体験ができる開かれた場所として活動を継続し、認知度を拡大する。 事業としては、一年を通して子ども邦楽体験教室で箏の技術を学ぶプログラムと、単発で行う伝統芸能ワークショップで、尺八、三味線、太鼓、鳴物、日本舞踊などを体験できるプログラムを行い継続する。育成された人材を、熊本市のイベント等のプログラムに出演させるなど、さらに熊本市に貢献できる人材育成を行っていく。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	熊本は邦楽界に影響を与えた長谷校を輩出した邦楽の聖地として、毎年国内外から全国邦楽コンクールに多くの若者が訪れる街です。その熊本で長期的な視野での人づくりによる次世代への継承を行いつつ、熊本城を中心とする城下町の観光文化振興として、“伝統文化によるまちづくり”を目指して、熊本が歴史と文化の香り豊かな街になるように貢献していきたいと考えています。